

	<b>新 春 号</b>	発行 令和6年1月 発行所 公益社団法人 鎌倉市シルバー人材センター 鎌倉市岩瀬549 TEL.0467-50-0181 FAX.0467-50-0626 <a href="http://web.sjc.ne.jp/kamakura/">http://web.sjc.ne.jp/kamakura/</a>	

# 迎春

令和6年



二宮町「吾妻山」原山 正征氏 撮影

— 目 次 —	
年頭のあいさつ .....	P2
私たち年男・年女です .....	P3~5
親子でシルバーセンター会員です .....	P6~7
活動状況お知らせ .....	P8
事務局からのお知らせ .....	P9~10
仕事場紹介 .....	P10

コロナウイルス・  
 インフルエンザの感染に  
 ご注意ください！





# 年頭のあいさつ

理事長 菅 卓三



新年明けましておめでとうございませう。

会員の皆様には、ご家族とともに  
お健やかな新年をお迎えのこと  
とお慶び申し上げます。

鎌倉市シルバー人材センターは、  
設立以来四十二年目を迎える、  
この間、諸先輩、関係機関及び会  
員の皆様方のご支援、ご努力に  
より、今日まで大過なく運営出  
来てまいりましたことを改めて  
感謝申し上げます。

また、令和三年に開設した岩  
瀬の事務所も地域の皆様のご理  
解、ご協力をいただき、地域社会  
に定着いたしました。

コロナウィルス感染症も「五

類感染症」となり、医療提供体制  
等も段階的に通常体制へ移行が  
なされており、コロナ前の生活  
に戻りつつあります。

このような中において、当セ  
ンターの令和五年度の事業実績  
は、徐々に好転の兆しはあるも  
の、コロナ禍前の状況には  
至っておらず、いまだ回復途上  
であり厳しい状況が続いており  
ます。

更に、昨年十月にインボイス  
制度が開始され、当面は軽減措  
置がありますが先行きは不透明  
で運営上の不安は残っております  
ので、引き続き最新の情報や  
全国的な動向を注視してまいり

ます。

また、重要課題である会員増  
強は、入会説明会の月二回開催、  
会員による口コミによる勧誘な  
どにより、新入会員は増えてい  
ますが、加齢や家庭の事情によ  
る退会者も多く、十一月まで会  
員数は五〇〇名を少し上回り、  
微増の状況です。

現在の会員の平均年齢が七十  
六歳であることから、仕事の  
効率化を検討し、あわせて安全  
対策を十分に講じていかなけれ  
ばならないと痛感しています。

昨年は、コロナ禍で自粛して  
いた地域ボランティア事業等が  
復活しました。

今まで自粛していた事業の  
再開を地道に行って当セン  
ター事業の普及啓発を図り、事  
業実績の回復に努めてまいり  
ます。

今後とも、高齢者の知識、経  
験を活かした就業機会を得る  
ことにより高齢者の能力を活  
かした活力ある地域社会づく  
りに寄与できうるセンターと  
して、様々な活動をしてまいり  
たいと思っておりますので、会員  
様の絶大なるご協力をお願い  
申し上げます。

末筆になりましたが、会員の  
皆様並びにご家族の皆様のご  
健康とご多幸をお祈り申し上  
げて新年のご挨拶とさせていただきます。



としおとこ  
としおんな

# 私たち 年男・年女 です。

令和六年の干支を正確にいうと甲辰(きのえたつ)。

令和六年は「辰年」です。

動物にあてはめると龍(竜)ですが、龍は十二支で唯一の想像上の生き物ですので、現実感が少ないですが、水や海の神として祀られてきたことから、不思議で猛々しく、大自然の躍動を象徴するものとして、龍が現れるとめでたいことが起こるといわれてきました。

このようなことから「辰年」は陽の気が動いて万物が振動するので、活力が旺盛になって大きく成長し、形が整う年だといわれています。

特に令和六年は、干支でいう「甲辰」(きのえたつ)の年で十二支の「辰」、十干の一番目である「甲」(きのえ)が重なる年であり、より縁起の良い年であるといわれています。

そんな「辰年」生まれの方々に「今年の抱負」についてお伺いいたしました。

## 今年の抱負

(年齢・会員番号順に掲載)

ご投稿いただけなかった方は、氏名と年齢のみの掲載にさせていただきます。



宮川 紀雄 さん  
84歳

”無理せず・楽せず”で健康二十年。秀抜な後輩とセンターの支え

で至福のシルバーク時代を送っています。宝物です。アリガトウ。



茂木 好男 さん  
84歳

今年には八十四歳の年男を迎えます。これまで元気で働けたのもシルバークさんのお陰です。これからも健康で夕方の一杯を楽しみたいです。



原山 正征 さん  
84歳

令和六年年男となる八十四歳「病」もなく元気に日々過ごしているのも、シルバーク人材センターの仕事についているお陰と感謝しています。



桑原 邦紀 さん  
84歳

シルバークに入会以来、長く市内施設の管理業務に携わってきました。今後も「上善如水」の心境で過ごします。





井之上 慶子さん 84歳

いつも好奇心を持って、未知の老いを明るく楽しく日々生活することを願っております。

渡辺 紀仁さん 84歳

シルバーに入会后、十五年になります。この間、理事職を一期と除草班班長を三年勤めさせていただきました。

屋外作業を長い期間続けられたのは、シルバーという組織のおかげであると感謝しています。

丸橋 吉美さん 72歳

シルバーで続けた仕事を十年で一時離れて二年が過ぎましたが、忙しく動いています。一段落したらまたお世話になるつもりです。



荒木 政則さん 72歳

心も身体も健康第一を目標に、これからもシルバーで働きたいと思えます。



富山 幸子さん 72歳

シルバーの仕事をして頂き六年が経ちました。この年で楽しくメリハリのある仕事に着くことが出来て感謝いたします。

森栄司さん 72歳

信条としているのは健康年齢を高めること。それには身体をよく

動かし、規則正しい生活をするこ  
と。シルバーの仕事はこれを支え  
ています。



三上 正弘さん 72歳

今年もプレイヤーの皆様から、きれいに整備されていますね、と笑顔で言われるようテニスコート整備に頑張ります。



杉山 恒さん 72歳

定年後の新たな社会経験で、微力ながら人様の役に立ち、認知症の予防も出来て、お小遣い迄頂ける！ 元気で続けたいものです。



西原 起和さん 72歳

白内障の手術で視野が広がり辰の年男が昇龍になる年としたい。その一歩が五月の居合道師範士審査合格を目指す。

浅羽 優子さん 72歳

定年退職後には、シルバーボランティアガイドのお仕事を夢見ていました。現在、吉屋信子記念館で元気に就業しています。





影田 薫さん 72歳

今年、年男七十二歳で先輩方々の様に、シルバーを通じていつまでも、健康と若さを保てる様頑張ります。

原島 孝夫さん 72歳

シルバー人材センターの仕事を通じて、地域貢献と自身の体と脳の健康維持が今年の目標。

村田 淳さん 72歳

引きこもり気味だった自分が、シルバーさんのお世話で、同世代の方々と懐かしい話題で楽しい毎日を過ごしています。

横尾 直弥さん 72歳

私は、縁あって昨年六月から会員にさせて頂きました。「年男」という実感はありませんが、この一年どうぞ宜しくお願い致します。さて私の「健康」の秘訣とは、「元気」にいるという事でしょうか???

赤堀 佐代子さん 72歳

職業生活を終え七十歳台に突入。ここで過去の私に別れを告げ、「初」に挑戦することに。例えば「エステ」、「料理教室」、「温泉巡り」...

内田 正秀さん 72歳

まだ植木班入会数ヶ月の新人年男です。鎌倉のお庭が少しでもきれいになるお手伝いが出来れば本望です。

◎八十四歳の方

- 嘉代 俊夫さん
- 川崎 睦男さん
- 高橋 幸一さん
- 初澤 孝壽さん
- 只野 賢一郎さん
- 永野 宏さん
- 濱野 梅子さん

◎七十二歳の方

- 福元 みち代さん
- 小山 柴人さん
- 宮本 龍さん
- 鈴木 勝栄さん
- 大島 千留夫さん



令和5年度

事業実績 (請負・委任事業)

(令和5年11月まで)

受注件数 1,998 件  
 就業延人員 25,421 人日  
 契約金額 193,072 千円

会員登録・就業状況調査 (期間:令和5年4月~11月まで)

(単位:人, 歳)

		60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	計	平均年齢	最高年齢
令和5年11月30日 現在の登録会員数	男	13	39	109	154	104	419	76.2	89
	女	6	15	34	41	23	119	75.3	92
	計	19	54	143	195	127	538	76.0	92
令和5年4月 ↓ 令和5年11月の就業実会員数	男	11	27	98	123	90	349	76.8	89
	女	3	12	30	31	15	91	75.7	86
	計	14	39	128	154	105	440	76.6	89



設立から40年が過ぎ

親子で

シルバーセンター会員です



(社)鎌倉市シルバー人材センターは、健康な高齢者が増える中、一般雇用は希望しないが、働く意欲のある高齢者のためにその知識経験を活かした就業紹介の機関として、昭和五十八年四月一日に中央公民館分館(現鎌倉警察にあった建物)で開催された設立総会で設立しました。



昭和58年4月1日午後、鎌倉市中央公民館分館(現 鎌倉警察署)で設立総会を開催



多数の会員が出席のもと来賓をお迎えした設立総会



受付では個人ごとに会員証や議案書が入った封筒を渡した

た。高齢者に就業紹介をする今までにない機関とあって、たくさんの期待があつたのです。

あれから四十年を経過して、二世代でシルバー会員登録をした人もいらつしゃいます。

その方たちにシルバーに入会のお気持ちなどを伺いました。

「人生一〇〇年時代」を過ごす

初澤 孝壽

高齢化が進むこの時代「人生一〇〇年時代」と言われています。これは、あなたは第一線を退いてからの長い第二の人生をどのように過ごしますかとの問いかけでもあるのではないのでしょうか。

その答えはさまざままで明快な回答はないと思います。「悠々自適の隠居暮らし」という方、また「ボランティアに参加」「働く」など「もう一人の自分」を見出し「生涯実りある人生」を過ごすという方もいらつしゃるのではないでしょうか。

私の両親もシルバーセンターの会員として、仕事をしています。当時、シルバーセンターが設立されたことにより第二の人生を

歩んでいた人たちが、就業機会を得ることが出来たことはとても良かったと思います。

私がシルバーセンターの会員登録をしたのは現役を引退した直ぐの今から十数年前のことでした。

紹介された駐車場管理の仕事などを淡々と行ってまいりました。

この間を振り返って、シルバーセンターでの就業により出会うことが出来た多くの仲間との出会いが、何事にも代えがたい素晴らしいことであつたと思えます。

今後も気力、体力が続く限り、素晴らしい仲間とともに「人生一〇〇年時代」を過ごしてまいると思つていきます。



## 親子で「植木の手入れ作業」に就業

大山 敏夫

センター発足四十年を迎えた中で、親子二世代での入会の想いということから、父の就業などに思いを馳せてみたいと思います。

私は入会八年目となりますが、父は亡くなつてから既に十九年になります。

もしかしたら発足当初ぐらいから就業していたかも知れませんが。

父も植木の手入れの仕事をしていますでしたが、転落してけがをしたこと、ヘルメット・安全帯を全員着用するようになったことや自分たちのセンターでの評価が低いと言つていたことぐらいしか覚えていません。

私は、植木の剪定などにはまったく興味がなかったことから、父とシルバーでの仕事の話をしたことはほとんどありませんでした。

父が亡くなつた後、自宅庭木の手入れが必要となり大変困りましたが、父の作業道具があつたことから伸びた枝を切るだけの素人流は、何回か座学で勉強もしましたが、それなりの出来栄でした。

今ではネット動画があり、私も活用(要となるコジット論による切り戻し剪定など)し、これは確かに技能の向上につながつたと思つています。

緑の多い庭の剪定・除草などは毎年困ることであり、これらの仕事に就くことはやりがいのあることだと思ひ入会しました。

健康で働く意欲のある方々がシルバー人材センターの入会により、それぞれの能力を生かした新たなライフスタイルを創りあげていただきたいと思ひます。

## 二代にわたつてシルバー人材センターで

佐藤 進

現在私はシルバー人材センターでの施設管理として、西御門テニスコートでの整備管理に従事しています。

ここでは七名のスタッフが二名ずつ組んで、朝七時から十五時(季節により十七時)まで勤務し、前日使用して荒れた六面あるクレーコート(土製)面のコートローラーを運転して、コート整備、落ち葉清掃などの後に、来場者を迎えるの受付管理をしています。

私の父も、シルバー人材センター発足当時に入会して約十五年、鎌倉市役所駐車場管理に携わっていました。

サラリーマンを退職し、さあこれからどうしようかあれこれ考えていた矢先にシルバーセンターが発足して会員募集していることを知り、即入会手続きしたそうです。

父は現役時代から写真(カメラ)が一番の趣味で、写真同好会にも籍を置いていた様です。残念なことに当時の様子がどんなものだったかなどは殆ど語らなかつたので知り様がありませんでした。

自分も父同様に写真撮りが大の趣味。全国を巡りながら撮り溜めた写真を時間に余裕ができた今になって焼き直したり整理しながら在りし日のことを思い出したりしています。

親子二代に亘りシルバー人材センターに入会したことにより、とてもよい第二の人生が過ごせていると思ひます。

これから先も身体の動く限り、自然に恵まれた環境の中で体を動かしながら、シルバー人材センターのお世話になつて頑張りたいと願う毎日です。



# 地域班ボランティア活動について

昨年度、コロナ禍で中止されていた地域班ボランティア活動が四年ぶりに実施されました。

この活動は、シルバー人材センター事業「普及啓発促進月間」(十月)の一環として、ボランティア活動を通じ、市民に一層親しまれるセンター活動を目指すことと併せて地域社会に貢献することを目的として行ったものです。

九月二十四日の「クリーンアップかまくら」への参加から始まり、JR大船駅西口周辺、腰越行政センター周辺、湘南モノレール湘南深沢駅周辺の除草清掃作業を、総勢百二十二人の参加で行いました。

身近な場所の清掃作業は、大変喜ばれるものです。今年のボランティア作業もぜひご参加ください。



# 地下道ギャラリー展示

令和五年九月十二日から九月十八日まで、鎌倉駅地下道ギャラリーにおいて、鎌倉市シルバー人材センターの活動内容の展示を行いました。

地下道を行き交う人が、この展示をご覧になったことによりシルバセンターの活動に興味を示していただけ、入会者や仕事の申込が増えることに期待したいものです。



# 除草(刈払機・手刈り)講習会開催

神奈川県シルバー人材センター連合会主催の除草講習会が、令和五年十一月八日から一〇日までの三日間、鎌倉市で開催されました。

刈払機を中心にその使い方の講義と実習、そして手刈り作業の実習を行いました。

今回の実習は、わかりやすく参加してよかったとの声がありました。



# 鹿児島市シルバー人材センターから役職員が来訪

鹿児島市シルバー人材センターから役職員二名が研修視察で来訪し、受託事業、職群班活動、会員拡大などについてその現状と対策を当センターと意見交換しました。

鹿児島市は人口約五万八千人でシルバー人材センター会員数は約四千三百人、事業実績は約十七億六千万円。事務局も本部と五支部で運営している大規模な団体です。

活発に運営されている鹿児島市の活動内容を参考にさせていただいて、当センターと今後も交流を持てることに期待します。





事務局からのお知らせ



令和五年八月から令和五年十二月までに入会された方々です。

- 内田 勉 岸 政仁
- 岡部 信子 中村 洋一郎
- 玉木 多美江 白井 礼子
- 田口 浩幸 吉田 幹夫
- 白石 智明 伊崎 真司
- 久保田 潤 檜垣 葉子
- 飯濱 功 平石 則子
- 池田 博行 小玉 春美
- 則元 令也 草間 俊介
- 森 朝美 鈴木 健二郎
- 出水 裕子 富永 恵子
- 松浦 秀樹 飯田 ミツ子
- 岩本 義信 (敬称略)
- 船水 謹子

センター活動報告

令和5年8月

- 9日 入会説明会
- 24日 入会説明会

令和5年9月

- 11日 鎌倉地区班長会議
- 12日 大船・玉縄地区班長会議
- 鎌倉駅地下道ギャラリー展示開始

- 13日 入会説明会
- 14日 三役会議

- 15日 腰越・深沢地区班長会議

- 19日 地下道ギャラリー展示終了
- 20日 理事会

- 24日 「クリーンアップかまくら」清掃ボランティア参加

- 28日 入会説明会

- 30日 文化財班会議

令和5年10月

- 11日 入会説明会

- 12日 大船駅西口周辺清掃ボランティア

- 16日 腰越地区清掃ボランティア

- 18日 湘南深沢駅周辺清掃ボランティア

- 25日 入会説明会

県シ連主催 派遣事業会議

令和5年11月

- 7日 植木班会議

- 8日 県シ連主催除草作業講習会

- 県シ連主催 事務局長会議

- 入会説明会

- 9日 県シ連主催除草作業講習会

- 10日 県シ連主催除草作業講習会

- 14日 広報部会

- 22日 入会説明会

- 25日 文化財班会議

- 30日 鹿児島市シルバーセンター職員来訪

令和5年12月

- 7日 鎌倉地区班長会議

- 8日 腰越・深沢地区班長会議

- 12日 大船・玉縄地区班長会議

- 13日 入会説明会

- 19日 三役会議

- 21日 入会説明会

- 22日 県シ連主催職員研修会

- 26日 理事会



あじさい趣味の会

手芸品づくりが好きな人が定期的  
に集まって、気ままにビーズアクセ  
サリー、吊るし雛、刺繍、編み物な  
どを作って楽しいひとときを過ごし  
ています。出来た作品は、鎌倉駅地  
下道ギャラリーでの展示や「福祉ま  
つり」などに出品しています。

一緒に手芸品を作る仲間を募集し  
ています。見学も自由ですので、ぜ  
ひお越しください。

「活動日」

令和六年一月十二日(金)

三月 一日(金)

※二月はお休みします

時間 午前十一時三十分から

午後 一時三十分まで

場所 大船学習センター第二集会所





仕事場紹介

「中世と出会う。」

文化財班 鈴木敏朗

夏に鎌倉歴史文化交流館で「発掘調査速報展2023」が開催された。

なんと、ここにぼくが掘り当てた人形のかしらが表示されていた！

二〇二二年の「若宮大路周辺遺跡群」発掘時に出土したものだ、調査主任によると、これは男子が産まれたときの形代(かたしろ)で、厄払い(身代わり)のため人形を枕元に置いたのだという。

こうした人形は室町時代以降に定着した雛祭りの原型ではないかとも推論する。

形代を子どもの枕元においていた鎌倉びとの、子を想う親心は、数百年たったいまも変わらない。その現場からは大量

のかわらけ(土器)も発掘されたが、武士たちの酒を酌み交わす姿と重なり、その談笑まで聞こえてくるようだった。

七〇〇年以上、地中に埋もれていたモノたちに、最初にあいまみえる「特権」は中世考古学の学者先生ではなく、ぼくら「シルバー文化財班」にある。

いやー、面白い！



速報展で展示された烏帽子をかぶった人形のかしら(発掘時に写真におさめた)

圧着ハガキで

「配分金支払証明書」

をお届けします

お届けする「配分金支払証明書」(令和五年分)の金額は、令和五年一月分(令和五年二月二十日振込)から令和五年十二月分(令和六年一月十九日振込)までのものです(会費の納入を配分金からの控除でなされた方は、配分金支払証明額と口座へのお振込の金額に二千円の差額があります)。

「配分金」は所得税法上「その他の雑所得」に該当し、租税特別措置法第二十七条の規定に準じて必要経費控除が認められています。

発送の時期は、令和六年一月十九日(令和五年十二月分の配分金)の配分金振込が済んでからで、令和六年一月下旬ごろになります。

配分金の

税務申告説明会

次の日程で「配分金の税務申告説明会」を開催します。

出席をご希望なさる方は電話(☎50・0181)でお申し込みください。

また、当日は駐車場や駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用のうえ、筆記用具をご持参ください。

日時

令和六年二月三十日(火)

午後二時〜午後三時三十分まで

場所 岩瀬公会堂二階大ホール

講師 税理士 谷内 浩氏

